

かしこい患者の心得



医師との対話を大切に

まず、“知ること”に加え、“医師との対話を大切に” — これも、かしこい患者の心得のひとつです。

また、医師との対話に欠かせない専門用語として、『インフォームド・コンセント』と『セカンド・オピニオン』があります。かしこい患者になるためにしっかりと会得しておきましょう！

医者にかかる10箇条 (けんぽれん病院情報「ぼすびたる！」より)

あなたが“いのちの主人公・からだの責任者”

- 1 伝えたいことはメモして準備
- 2 対話の始まりはあいさつから
- 3 よりよい関係づくりはあなたにも責任が
- 4 自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報
- 5 これからの見通しを聞きましょう
- 6 その後の変化も伝える努力を
- 7 大事なことはメモをとって確認を
- 8 納得できないことは何度でも質問を
- 9 医療にも不確実なことや限界がある
- 10 治療方法を決めるのはあなたです



インフォームド・コンセント

医師が患者に治療や処置について必要な情報を提供し、患者はそれを選択・同意したうえで医療を受けることをいいます。

セカンド・オピニオン

主治医の診断のほかに、治療や手術について、主治医以外の医師の意見を求めることをいいます。医療現場では、この制度を積極的に推進しています。

セカンド・オピニオンを求める場合には、主治医と相談して検査や診断に関するデータの写しなどをもらい、病院の相談窓口でセカンド・オピニオン受診について、きちんと確認することが大切です。

病院選びの情報満載のホームページ

けんぽれん病院情報 ぼすびたる!
<http://www.kenporen-hios.com/>

診療を受けるときに知りたいこと、医療機関側の伝えたい情報が得られます。

検査・治療
手術について
得意分野 など

